

会 議 録

1 会議名

平成28年度第2回三郷区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 平成28年度地域活動支援事業について（公開）

3 開催日時

平成28年6月6日（月）午後6時33分から午後9時56分まで

4 開催場所

三郷地区公民館 集会室

5 傍聴人の数

2人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員：山口典夫（会長）、竹内浩行（副会長）、保坂裕子（副会長）、池内幸雄、伊藤善一、尾崎祐三、加藤与三郎、佐藤 功、二野 浩、保坂真由美、山田宏文、横尾彰平

・事務局：南部まちづくりセンター 佐藤センター長、榎島係長、小林主事

8 発言の内容（要旨）

【小林主事】

- ・12名の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・同条例第8条第1項の規定により、議長は山口会長が務めることを報告

【山口会長】

- ・会議の開会を宣言
- ・会議録の確認：尾崎委員、加藤委員に依頼
次第2「議題等の確認」について、事務局に説明を求める。

【佐藤センター長】

資料により説明。

【山口会長】

質疑を求めるがなし。

—次第3議題（1）平成28年度地域活動支援事業—

【山口会長】

続いて、次第3議題（1）「平成28年度地域活動支援事業について」、正副会長は審査に加わることから、事務局に会の進行を求める。

【佐藤センター長】

提案状況について、平成28年度三郷区申請概要一覧【確定版】により説明。

審査の流れについて、提案者による事業説明5分以内、質疑応答5分以内、委員による基本審査1分以内、採点3分以内。それぞれの配分時間の1分前にベルを1回、終了時点で2回鳴らす。採点表は、事務局がその都度回収し随時集計作業を行う。

以上を提案案件ごとに繰り返し、その後採点結果報告、意見交換を経て、事業採択を行う。

事務局の説明について質疑を求めるがなし。

続いて、整理No.1「三郷地区の歴史・史跡を研究する事業」について、提案者に説明を求める。

【提案者】

— 事業概要に基づき説明 —

【佐藤センター長】

提案者の説明について質疑を求める。

【二野委員】

石材鑑定で、何が分かるのか。

【提案者】

国分寺を造る時の礎石は、一定の方面から来ていると思われている。筏の下に礎石を下げて、日本海から関川をさかのぼり今池辺りから丸太で運んできたというロマンチックな想像をしている。

土地所有者との関係もありすぐに発掘をすることが難しいため、公民館や三郷小学校、本長者原の神社などの石の出所を調べることで、何かがわかるのではないかと思っている。

【保坂真由美委員】

活動記録をまとめた冊子を発行すると、予算が上乗せになるのでは。

【提案者】

印刷代の中に計上済み。

昨年実施する予定だったが、三郷区の皆さんに配るのに中途半端な内容ではよくないだろうということで、きちんと整ったものにしたいと考えている。

【尾崎委員】

バスは何台を予定しているか。

【提案者】

40名乗りが1台である。

【佐藤センター長】

- ・ 質疑を終了。提案者に不採択や補助額の減額があることを伝える。

採点を委員に依頼。

— 採点シート① 採点・回収・集計 —

- ・ 基本審査で適合しないとした委員なし

— 採点シート② 採点・回収・集計 —

整理No.1 「三郷地区の歴史・史跡を研究する事業」の採点を終了。

続いて整理No.2 「小学生通学路の安全整備事業」について、提案者に説明を求める。

【提案者】

— 事業概要に基づき説明 —

【佐藤センター長】

提案者の説明について質疑を求める。

【竹内副会長】

市道路課や上越警察署等との事前協議の中で意見は出なかったか。

【提案者】

市道路課との事前協議では、グリーンラインの施工は支障ないとのことだった。

なおグリーンライン施工範囲の中に、市が今年9月に行う道路改良工事箇所が含まれており、われわれがラインを施工してもすぐ消すことになるため、改良工事後に市がグリーンラインを引くことになった。

【竹内副会長】

下四ツ屋から西松野木の間で、一部が左側通行になるが、何か意見は出たか。

【提案者】

下四ツ屋から西松野木地内に入るまでは左側通行、西松野木の中は右側通行、これは学校で決められている通学路どおり。

【竹内副会長】

そこだけ左側通行か。

【提案者】

西松野木の長者町側入り口付近と、西松野木側入り口付近にグリーンラインを引き、予算の関係で町内内部には引かない。

幅30センチのグリーンの線と、15センチの白線を引く。7～8年間は消えない。グリーンラインがあれば運転手は通学路とわかる。

【池内委員】

市では、道路改良工事で歩道を設置するという話はあったか。

【提案者】

歩道設置の話はない。それまで広い道が、改良予定箇所から狭くなっている。

【池内委員】

道路課では、ここに歩道を付けるという話はなかったか。

【提案者】

歩道の話はなかった。

【池内委員】

全然なかったか。

【提案者】

なかった。歩道がつけば一番よいのだが。

【佐藤センター長】

- ・ 質疑を終了。提案者に不採択や補助額の減額があることを伝える。

採点を委員に依頼。

— 採点シート① 採点・回収・集計 —

基本審査で適合しないとした委員1名。

— 採点シート② 採点・回収・集計 —

整理No.2「小学生通学路の安全整備事業」の採点を終了。

続いて整理No.3「さんごう防災DAY事業」について、提案者に説明を求める。

【提案者】

— 事業概要に基づき説明 —

【佐藤センター長】

提案者の説明について質疑を求める。

【尾崎委員】

防災訓練の必要性は痛感した。

しかし、宿泊訓練まで必要か疑問、重要性が理解できない。実際災害が発生すれば体育館で避難生活をせざるを得ないが、訓練は必要か。

むしろ、消火器訓練を拡充したほうがよいのでは。

【提案者】

必要と思い企画した。

実際に体育館で宿泊する体験をすると苦痛で、テレビのニュースも共感を持つてみる
ことができる。備える心が皆さんの心に芽生えれば良いと思う。

【横尾委員】

昨年初めて実施したが、反省点や参加者の意見をまとめ、全体を総括したか。

【提案者】

補助金の実績報告を上げたが、一人ひとりの意見から何かをとすることはしていない。

【横尾委員】

参加者の意見をまとめるのも、事業成果だと思う。

【提案者】

今回役員の中に、宿泊訓練参加者による意見発表の場を設けようという意見がある。

【横尾委員】

その方がよい。

【山口会長】

非常によい事業なので、来年もまたぜひ継続してほしい。熊本地震でも問題になった
が、避難所が抱える課題について検討してほしい。

【池内委員】

事業の対象者に、主に小学生80人と保護者とある。なぜ高齢者を入れないか。

【提案者】

小学生と保護者には強く参加を呼び掛けている。高齢者の方も参加されているし、今
年参加してみたいという高齢者の方もいる。当然、是非参加していただきたい。

【佐藤センター長】

・ 質疑を終了。提案者に不採択や補助額の減額があることを伝える。

採点を委員に依頼。

— 採点シート① 採点・回収・集計 —

基本審査で適合しないとした委員1名。

— 採点シート② 採点・回収・集計 —

整理No.3「さんごう防災DAY事業」の採点を終了。

続いて整理No.4「布施長者伝説継承事業」について、提案者に説明を求める。

【提案者】

— 事業概要に基づき説明 —

【佐藤センター長】

提案者の説明について質疑を求める。

【保坂副会長】

今年で3年目の事業となるが、3回目を実施するにあたり今年工夫した点はあるか。

【提案者】

寸劇であれば、音楽を入れたりキャラクターを増やしたりとソフト的な面の充実を図ってきた。目立つことはないが、ちょっとしたグレードアップを図っている。

【保坂副会長】

内容の充実ということで、承知した。

【横尾委員】

長者の紙芝居をつくってほしいと頼まれたことがあったが、調べても長者が栄えた時代が分からない。鎌倉時代だと思うが、承知しているか。

【提案者】

分からない。

【横尾委員】

紙芝居の長者の衣装などは、その時代のものでないとチグハグになるため、承知していれば教えてほしいと思った。

【提案者】

出典元の「新潟の伝説」という本には、今から900年ほど前のこととある。

【横尾委員】

鎌倉時代くらいということか…。

【尾崎委員】

三郷地区の歴史・史跡を研究する会と一緒に事業を行うという考えはなかったか。

【提案者】

毎年検討しないといけないと思いながら、まだしていない。

【尾崎委員】

直近の収支決算が昨年は65万1千円、今年は27万円。事業内容の違いもあるが、かなり差があるのでは。

【提案者】

直近の収支決算は団体の収支。65万1千円は昨年の「布施長者伝説」と「さんごう防災DAY」の事業費の合計額。

【佐藤センター長】

- ・ 質疑を終了。提案者に不採択や補助額の減額があることを伝える。

採点を委員に依頼。

— 採点シート① 採点・回収・集計 —

基本審査で適合しないとした委員は3名。

— 採点シート② 採点・回収・集計 —

整理No.4「布施長者伝説継承事業」の採点を終了。

続いて整理No.5「三郷小学校課外活動支援事業」について、提案者に説明を求める。

【提案者】

— 事業概要に基づき説明 —

【佐藤センター長】

提案者の説明について質疑を求める。

【保坂真由美委員】

現在小学生が着ている衣装は、22年近く前に地域の皆様から購入していただいたもの。最初は一部の人数分しか買えずに、何度かに分けて揃えたと思う。ここで新しくしていただければありがたいが、これまで地域の皆さんが苦勞されて揃えたことを忘れないでほしい。

【伊藤委員】

衣装の数はどうやって出したか。

【提案者】

学校に聞いた。移杖式で着る、今の4、5、6年生の人数分だと思う。

【佐藤センター長】

- ・ 質疑を終了。提案者に不採択や補助額の減額があることを伝える。

採点を委員に依頼。

— 採点シート① 採点・回収・集計 —

基本審査で適合しないとした委員は2名。

— 採点シート② 採点・回収・集計 —

整理No.5「三郷小学校課外活動支援事業」の採点を終了。

続いて整理No.6「さんごう夏っ子クラブ事業」について、提案者に説明を求める。

【提案者】

— 事業概要に基づき説明 —

【佐藤センター長】

提案者の説明について質疑を求める。

【保坂真由美委員】

三郷地区公民館のポットなどは老朽化している。みなさんは個人的に持参か、公民館のものを使用しているか。

【提案者】

飲み物は子どもたちが持参している。

【保坂真由美委員】

特別に出すようなことはないか。

【提案者】

以前は出していたが、すべてやめて子どもたちが持参している。調理の時は少し用意することもあるがポットはあまり使わない。夏なので冷たい飲み物、麦茶を用意する。

【保坂真由美委員】

調理体験の時はどうしているか。

【提案者】

希望する子どもたちがあらかじめ計画を立て、身支度を整え調理室で大人と一緒に、去年だとスパゲティや餃子を作った。小さい子どもたちが多いので喜んでもらっている。

【保坂副会長】

参加料は。

【提案者】

全額補助金を使い、参加料はない。

【保坂副会長】

キャンプファイヤーも同様か。

【提案者】

そのとおり。

【二野委員】

三郷地区に子供会はあるのか。

【提案者】

ある。

【二野委員】

地区全体であるか。

【提案者】

地区全体である。

【二野委員】

以前は、子供会がキャンプをやった記憶があるが、今はなにもしていないのか。

【提案者】

夏祭りの実行委員の中に子供会が入り、一緒に運営しているだけである。

【二野委員】

子供会は、キャンプは一切していないか。

【提案者】

やっていない。

【二野委員】

昨年も同じ事業をしたか。

【提案者】

去年も南葉山でキャンプをした。

【二野委員】

南葉山まで行く費用はどうしているか。

【提案者】

去年はバスのチャーター代を計上した。今年は南葉高原キャンプ場のバス送迎を1万円ですてもらう。

【横尾委員】

会費は集めないか。

【提案者】

今のところ集めていない。

【横尾委員】

多少でも参加費を集めた方が良いと思う。

【提案者】

始めた時には運営がきちんとできなかつたので、お金を集めるところまでできなかつた。今後、考えていく。

【横尾委員】

自己負担をすることも学んだ方が良いと思う。

【佐藤センター長】

- ・ 質疑を終了。提案者に不採択や補助額の減額があることを伝える。

採点を委員に依頼。

— 採点シート① 採点・回収・集計 —

基本審査で適合しないとした委員は1名。

— 採点シート② 採点・回収・集計 —

整理No.6 「さんごう夏っ子クラブ事業」の採点を終了。

続いて整理No.7 「さんごう仲間づくり事業」について、提案者に説明を求める。

【提案者】

— 事業概要に基づき説明 —

【佐藤センター長】

提案者の説明について質疑を求める。

【保坂副会長】

参加者の個人負担はあるか。

【提案者】

個人負担がないものが多い。今年は個人負担を求める計画はない。

【保坂副会長】

フラワーアレンジメントの材料費、ひとり3千円は高額ではないか。持ち帰るのだから、個人負担を検討してほしい。

【山口会長】

昨年度の地域活動フォーラムで事例発表してもらったとき、いろいろな質問が出たが、その後、他の方から見学はあったか。

【提案者】

見学と言えるかわからないが、高士や諏訪の知人が地元の活動に参画したり、交流し

情報交換をしたりしている。

【山口会長】

地域活動フォーラムでの評判が良く、会長会議でも話したので、採択されたらぜひお願いしたい。

【保坂真由美委員】

いろいろなことに取り組んでいるが、同じことを継続しているものはあるか。

【提案者】

3年前の年末に、正月の垂れ紙作りをしたら好評で、次の年も継続したことがある。本当に評判が良ければ継続しても良いが、参加者から新しいことをしたいと言われるとそちらをしてみようとなるので、参加者やスタッフと話しながら毎年内容を決めている。

【保坂真由美委員】

中1年置いてまたやることもあるか。

【提案者】

今まではないが、十分あり得る。

【尾崎委員】

小学生がコラボレーションする相手となる、プロの金管バンドを選ぶ基準は。

【提案者】

去年は、上越市にゆかりのある方をお願いした。今年は、自分が勤める学校に演奏に来てくれるバンドで、子どもたちに対し良い形で演奏し楽器説明など上手なことから、良いと思い選んだ。

【佐藤センター長】

- ・ 質疑を終了。提案者に不採択や補助額の減額があることを伝える。

採点を委員に依頼。

— 採点シート① 採点・回収・集計 —

基本審査で適合しないとした委員は4名。

— 採点シート② 採点・回収・集計 —

整理No.7「さんごう仲間づくり事業」の採点を終了。

続いて整理No.8「下四ツ屋町内防犯灯設置により安全防犯を図る事業」について、提案者に説明を求める。

【提案者】

— 事業概要に基づき説明 —

【佐藤センター長】

- ・ 質疑を求めるがなし。提案者に不採択や補助額の減額があることを伝える。

採点を委員に依頼。

— 採点シート① 採点・回収・集計 —

基本審査で適合しないとした委員はなし。

— 採点シート② 採点・回収・集計 —

整理No.8「下四ツ屋町内防犯灯設置により安全防犯を図る事業」の採点を終了。

続いて整理No.9「下四ツ屋町内会安全・安心事業」について、提案者に説明を求める。

【提案者】

— 事業概要に基づき説明 —

【佐藤センター長】

提案者の説明について質疑を求める。

【竹内副会長】

火の見櫓撤去時に、そこに付いていた半鐘の移設を市へ要望しなかったのか。

【提案者】

市へ要望したが、半鐘を付けようとしている消防器具置場が町内会管理の下四ツ屋消防班のもので、そこへ半鐘を付けることはできないということだった。

【竹内副会長】

事前協議は必要なしとなっているが、西松野木消防部の予算で対応するという協議はしなかったか。

【提案者】

非公式に消防部と話をした。消防部でもお金がないことや、西松野木町内会と下四ツ屋町内会で消防費を負担しており結局町内会へ跳ね返ってくることから、消防部の予算では負担しないということで協議が済んでいる。

【佐藤センター長】

- ・ 質疑を終了。提案者に不採択や補助額の減額があることを伝える。

採点を委員に依頼。

— 採点シート① 採点・回収・集計 —

基本審査で適合しないとした委員は3名。

— 採点シート② 採点・回収・集計 —

整理No.9「下四ツ屋町内会安全・安心事業」の採点を終了。

続いて整理No.10「三郷地区大運動会事業」について、提案者に説明を求める。

【提案者】

— 事業概要に基づき説明 —

【佐藤センター長】

提案者の説明について質疑を求める。

【保坂真由美委員】

大型テント2基のおかげで、炎天下のなか招集所で待つ必要がなくなり好評だった。

万国旗は何年か経つと買い直す必要があると思うが、今回購入すると何年ぐらいもつか。

【提案者】

万国旗は昨年も一部更新している。一度に全部揃えると金額がかさむため、2カ年かけて更新した。耐用年数は、年に一回しか使わないので、数十年はもつと考える。

【竹内副会長】

5月22日に事業実施済みだが、精算は済んだか。

【提案者】

請求書が届いているものもあるが、原資も立替えるお金もないので、ぜひ満額採択していただいて、速やかに支払いたい。

【竹内副会長】

この事業は体育振興会のメインイベントだが、母体の予算はどのような状況か。

【提案者】

地区の大運動会には例年12万円程支出し、小学校の消耗品に充てている。

会計の決算報告を回覧等で地域の皆さんに示しているなので、ぜひご覧いただきたい。

【尾崎委員】

各町内会からの協力費の額は。

【提案者】

この提案には充てていない。

【尾崎委員】

この提案には充てていないのか。

【提案者】

充てていない。各町内からは1世帯当たり千円をいただいている。今年度は地区全体で364世帯からいただいている中から12万円を大運動会事業に充てている。

【佐藤センター長】

- ・ 質疑を終了。提案者に不採択や補助額の減額があることを伝える。

採点を委員に依頼。

— 採点シート① 採点・回収・集計 —

基本審査で適合しないとした委員はなし。

— 採点シート② 採点・回収・集計 —

整理No.10「三郷地区大運動会事業」の採点を終了。

続いて整理No.11「いきいき健康ウォーク事業」について、提案者に説明を求める。

【提案者】

— 事業概要に基づき説明 —

【佐藤センター長】

提案者の説明について質疑を求める。

【山田委員】

いつも参加しているが雨に遭うことも多い。もう少し早い時期にできないか。

【提案者】

指摘はもつともだが、秋のウォークはガイドの都合があり、今年はくびき野100kmマラソンもあり、例年より遅くなっている。開催まで時間があるので、多くの方の要望があれば検討したい。

【保坂副会長】

春秋それぞれの、これまでの参加者数を。

また、参加者の負担金はあるか。傷害保険をかけることから確認したい。

【提案者】

例年、小学生と保護者の割合が高く35～40名程度。これに加え一般の方が14～15名。総勢50名前後。負担金は一切ない。

【横尾委員】

参加費無料はいかがかと思う。多少なりとも自己負担することを自覚していただくために、少しでも参加料をいただいたらどうか。

【佐藤センター長】

- ・ 質疑を終了。提案者に不採択や補助額の減額があることを伝える。

採点を委員に依頼。

— 採点シート① 採点・回収・集計 —

基本審査で適合しないとした委員は2名。

— 採点シート② 採点・回収・集計 —

整理No.1 1 「いきいき健康ウォーク事業」の採点を終了。

続いて整理No.1 2 「ウィンターフェスティバル事業」について、提案者に説明を求める。

【提案者】

— 事業概要に基づき説明 —

【佐藤センター長】

提案者の説明について質疑を求める。

【保坂副会長】

第1回担当者会議にPTA役員合同会議と括弧書きされているが、この事業の主催者は三郷体育振興会か。

【提案者】

そのとおり。

【保坂副会長】

PTAは共催でもない、PTAの位置付けは。

【提案者】

PTAでもこれまで同じような時期に子どもたちを中心にしたイベントを企画していた。集まる子どもが一緒に、PTAと体育振興会の両方に関わる役員も多いため、最初からPTAから関わってもらっている。

【保坂副会長】

共催ではないのか。

【提案者】

確かに、そうした方がすっきりする。

【二野委員】

昨年の参加者数は。

また、支出額47万7,550円のうち機器リース第44万9千円の中身は。

【提案者】

参加者はほとんどが小学生で、50名くらい。他に保護者と地域の方で総勢80名くらい。

機器リース代は、屋外の足湯を入れるテント1張り3万円、杵1本1,500円、も

ち米を蒸かすコンロ1台3千円、ゲーム一式は天候不順な場合の対応。

【二野委員】

一番高いのは足湯セットか。

【提案者】

そのとおり。

【二野委員】

いくらか。

【提案者】

10万円。

【佐藤委員】

足湯には、お湯が必要だがどうやってお湯を入れるのか、例えばプロパンガスで給湯器を使うのか。それらを含めて10万円ではないと思うが。

【提案者】

含めて10万円。

【佐藤委員】

全部含めて10万円か。

【提案者】

そのとおり。全部込みで10万円。

【佐藤委員】

プロパンガスを焚いてお湯にするのを全て含めて1セット10万円か。

【提案者】

そのとおり。

【佐藤委員】

2セットだと20万円か。

【提案者】

2セットで10万円、1セット5万円。

【佐藤センター長】

・ 質疑を終了。提案者に不採択や補助額の減額があることを伝える。

採点を委員に依頼。

— 採点シート① 採点・回収・集計 —

基本審査で適合しないとした委員は4名。

— 採点シート② 採点・回収・集計 —

整理No.1 2 「ウィンターフェスティバル事業」の採点を終了。

続いて整理No.1 3 「三郷の熱い夏をみんなで楽しもう事業」について、提案者に説明を求める。

【提案者】

— 事業概要に基づき説明 —

【佐藤センター長】

提案者の説明について質疑を求める。

【保坂真由美委員】

貸切バスは何人利用するか。

【提案者】

去年は少なかった。回覧とページング放送で周知したが、迎いのバスには数人程度、帰りのバスにはそれなりの人数が利用。

今年はそのようにならないよう、案内チラシを全世帯配布するよう考えている。

【佐藤委員】

去年バスが出るというので乗ったら、2名だった。

チラシの全世帯配布はあまり効果がないと思う。むしろ前日や当日に、車のスピーカーで放送しながら回った方が、皆さんの耳に届きやすいと思う。一人でも多く集めたいなら、そのようなことも大事。

【尾崎委員】

今年の事業費は昨年より13万円ぐらい多いが、拡充の内容は。また、各町内からの参加者が増えてきたということだが、町内会と一緒に事業をすることを働きかけているか。

【提案者】

拡充分は、テントを2張りから3張りに増やし、別にステージのテントを増やした。二つ目は、町内会への周知方法についての質問か。

【尾崎委員】

町内会へ、こういうのをやるから一緒にどうですか、と働きかけているか。

【提案者】

町内会長を通じ、何度か連絡をしている。バスの配車についても、町内会長にお願いし、駐車場所や時間など相談している。

【尾崎委員】

一緒にやりませんかという働きかけはしているか。

【提案者】

している。

【横尾委員】

マンネリ化していると感じないか。

【提案者】

マンネリ化まではいかないが、同じスタッフが準備を続けていることからスタッフの世代交代が必要だと思う。

【佐藤センター長】

- ・ 質疑を終了。提案者に不採択や補助額の減額があることを伝える。

採点を委員に依頼。

— 採点シート① 採点・回収・集計 —

基本審査で適合しないとした委員は2名。

— 採点シート② 採点・回収・集計 —

整理No.13「三郷の熱い夏をみんなで楽しもう事業」の採点を終了。

以上で、全ての事業の採点を終了する。

— 5分休憩 —

— 採点結果を説明 —

- ・ 基本審査で不適合が過半数となった事業なし
- ・ 共通審査の委員採点で得点が多い順に順位づけ

1番 三郷地区大運動会事業

2番 下四ツ屋町内防犯灯設置により安全防犯を図る事業

3番 小学生通学路の安全整備事業

4番 三郷地区の歴史・史跡を研究する事業

5番 下四ツ屋町内会安全・安心事業

6番 三郷の熱い夏をみんなで楽しもう事業

7番 さんごう防災DAY事業

8番 三郷小学校課外活動支援事業

9番（同点） さんごう夏っ子クラブ事業

9番（同点） いきいき健康ウォーク事業

11番 さんごう仲間づくり事業

12番 ウィンターフェスティバル事業

13番 布施長者伝説継承事業

採点結果に基づき、「採択審査」の進行を山口会長に求める。

【山口会長】

審査の結果に基づき、採択事業の検討を始める。採点結果をもとに採択事業と補助金額を決める。

基本審査で不採択の事業はなし。全事業が採択になっている。配分額、補助率はまた後で協議願う。意見を求める。

【横尾委員】

全部採択にはなっているのですよね。

だから、その配分額をどうするか。

【山口会長】

今の横尾委員の意見のとおり、全事業が採択になったということでよいか。

【榎島係長】

確認する。

基本審査では全ての事業で、委員の過半数が適合すると判断した。

この後、採択する事業を議論いただくものであり、基本審査の結果をもって自動的に全ての事業を採択するというルールではない。

【山口会長】

順位は決まったが、基本審査において全ての事業で全員が適合するとしたわけではないので、意見があろうかと思う。

【尾崎委員】

共通審査の合計点で順位がついているが、それと別に基本審査の結果も加味した方がよいと思う。

（「どう加味するかが問題」という声あり。）

【山口会長】

基本審査で適合しないとした委員もいたが、適合するという委員が過半数だったため

共通審査をした。

【池内委員】

基本審査で適合しないとした事業は、共通審査は0点でもよいと思ったが、どうしても1点以上つけるルールだったので点数をつけた。それも加味しては。

【山口会長】

全てを採択するか、順位でボーダーラインを引くか。68万円予算が不足しているので、全事業に補助希望額どおりというのは無理である。

【横尾委員】

この制度は、広い範囲の皆さんに予算を向けようということが基本にあったと思う。提案者は辞退できないのか。

【榎島係長】

何を辞退するということか。

【横尾委員】

提案者が提案を取り下げること。そういう人が出れば不足する予算額は減るだろうし、それでもまだ足りないこともあるが。

【山口会長】

資料No.2として配られた審査・採択の基本的なルールにより進めていきたい。

【池内委員】

尾崎委員のとおり、基本審査で不適合とした委員がいるのだから、それは加味すべき。

【山口会長】

その加味の仕方を具体的に説明してほしい。

【池内委員】

皆さんは、どう思われるか。

【二野委員】

基本審査で不適合とした委員もいるため、それにより補助金額を下げても全部採択するか一部の事業を不採択とするか、これを先に決めた方がよい。

【池内委員】

基本審査の結果に相当の比重をかけたらいと思う。

【山口会長】

比重をかけるとは。

【保坂真由美委員】

金額を下げるということか。

【池内委員】

そのとおり。

【竹内副会長】

基本審査の割合によって補助率を変える。

【山口会長】

まとめると、二野委員は、まず全部を採択するのかあるいは一部を不採択とするのかを決めるべきと。

池内委員は、全て採択した上で、基本審査で不適合とした方もいるため補助金額を決める時にそれを加味しよう。

【山田委員】

全て採択になったので、補助希望額から少しずつ下げて補助したらよい。

【山口会長】

全事業採択するというのでよいか諮る。

【二野委員】

全部採択した場合、予算が10%以上足りないので全ての事業の補助額を平均10%以上減額するということか。

【山口会長】

後で相談する。

【佐藤委員】

減額して採択した場合、事業が全て中途半端になってしまう。必要な経費を計上して提案してきた事業に対し、全事業を採択して補助額を下げるというのはいかがか。

【山口会長】

基本審査で適合が半数以上なら採択ということになっている。

【槇島係長】

あらためて確認する。

まず、基本審査で過半数が不適合とした事業はなかったので、全ての事業の中からの事業を採択するかを皆さんで協議する必要がある。

次に、補助希望額の合計が予算を上回る場合は、補助金の配分方法について検討することになるが、初めに全ての事業を採択することに決めてしまうと補助金の配分方法の検討段階で大変になる。

このことから、採択事業の検討と補助金の配分方法の検討を同時に考えることが必要。

【山口会長】

いまの説明を踏まえ、意見を求める。

【尾崎委員】

全事業を採択するという事なので、補助金の配分方法については基本審査を加味してはどうか。全員が適合とした事業は全額補助、それ以外は、残った予算額を補助希望額で按分し基本審査結果をかけ直すという方法はどうか。

【池内委員】

基本審査で全員が適合とした事業は、補助希望額を全額認めるということか。

【尾崎委員】

そのとおり。

【山口会長】

基本審査で全員が適合としたものは全額を補助し、それ以外は適合しないとした委員数に応じて補助率を変えるということか。

【尾崎委員】

全委員が適合するとしたものは、当然最優先。それ以外の事業については、予算残額をその補助希望額合計で割り、基本審査結果をかけ直す。

【伊藤委員】

それにより補助金額が減らされ、各事業を実施できないと判断した場合はそれで仕方がないということになるのか。

【山口会長】

提案者には補助希望額どおりにならないことがあると伝えてあるので、そのようなことも視野に入れてもらう。取り下げる事業もあるかもしれない。

【池内委員】

事務局に聞きたい。ルールには、提案事業は審査により確定した順位で採択するものとする、と書いてあるがこの意味は。

【榎島係長】

順位の上位から順に採択するという事。順位を飛び越えた採択、つまり不採択事業とした事業より下位の事業を採択することはできないということを規定している。

【山口会長】

今回は全部採択になるということか。

【池内委員】

順位は関係ないのか。順位で採択すると書いてあるが。

【榎島係長】

上の順位から予算を充てていき、満額補助できるところまでを採択するとルールで定めている区がある。

【池内委員】

そういう場合は、順位どおりにしなさいということか。

【榎島係長】

そのとおり。

【横尾委員】

それが一番明快だが。

【山口会長】

それが一番よいのだが、広く提案されており、どの事業も新規や継続なので、予算の範囲で補助率を決める方法がよい気がする。

【保坂真由美委員】

西松野木町内会の事業が新規で一番事業費が大きい。先ほどの説明で市道改良工事箇所は市がグリーンラインを引くということなので、市から工事範囲より広範囲にグリーンラインを引いてもらったり、または本当に必要な箇所にだけグリーンラインを引いたりして、この事業費を減額することができないか。

【二野委員】

グリーンラインに関しては、定められた表示ではないため、市では対応できないという話である。

【池内委員】

そのようなことを言いだせば皆同じことで、例えば足湯をやめたり一つに減らしたりといろいろある。補助金を比例配分し、各事業が調整すればよい話。

【山口会長】

全ての事業を採択することでよいか諮り、委員全員の了承を得たことから、全ての事業を採択することと決する。

補助金額について、池内委員から、補助率を全て平均にしたらよいという意見があったが。

【池内委員】

そういう意味ではない。

基本審査の結果を尊重した方がよいという尾崎委員に賛成ということ。それで補助額が減額になったとしても、提案者が事業内容を見直すだろうと。

【山口会長】

補助額や補助率のことではないのか。

【池内委員】

そうではない。

減額されたらされたで、事業のうちやめる項目があるのではないかという意味。

【山口会長】

減額になった場合のことを考えて、ということでしょうか。

【池内委員】

そのとおり。

【山口会長】

補助希望額が配分額に対し68万円ほど足りないことは明確。事業費の減額も視野に入れて検討してほしい。

【横尾委員】

先ほどの意見は、基本審査も加味すべきということか。

【尾崎委員】

私の考え方はそうである。

【横尾委員】

判断の材料にしてよいと私も思う。

【山口会長】

そうすると、不適合とした委員が多い事業は補助率が厳しくなる。

【横尾委員】

減額の率が上がる。

【山口会長】

共通審査の点数で判断するのではないということである。

【横尾委員】

そのとおり。

【山口会長】

共通審査の点数ではなく、基本審査で不適合とした委員の人数で判断する。

【保坂真由美委員】

どういう考えのもとに不適合としたのか聞きたい。

【山口会長】

無記名による審査なので言えない。それを踏まえた中で、皆さんからの意見を集約し、総合的にどう判断するか。私は不適合としたから、よいですというものではない。

【横尾委員】

数字を見るより仕方ない。

【山口会長】

審査結果で判断してほしい。

不適合とした委員は配分額を決める時に意見があるだろう。当然減額が必要、補助金額について意見を求める。

腹案でもないが、全事業を採択したので公平に補助率を一定割合減らして配分してはどうか。

【池内委員】

どういう意味か。全部一律という意味か。

【山口会長】

そのとおり。提案一覧を見ると、補助率はほとんどが100%か99%に近い。この補助率を下げたらどうかということである。

【池内委員】

全部一律に、ということによいか。

【山口会長】

そのとおり。

【竹内副会長】

一律の場合、予算額を補助希望額で割ると87.8%ぐらいで、例えば三郷地区の歴史・史跡を研究する会の補助希望額58万円が50万9227円になる。その予算で事業の中で調整してもらえばよいという話。

その減額率を一律にするか、基本審査の結果を加味するか。

【横尾委員】

基本審査で適合するとした委員数が基本になるのか。

【竹内副会長】

基本審査を加味するのなら、12/12なら1倍だが、11/12なら0.92倍、

9/12なら0.75倍に減額する。

【二野委員】

西松野木町内会の提案は補助額が大きく、補助率が87%になるとかなり自己負担がでてくる。町内会で協議しないと決めかねる。

【山口会長】

二野委員がたまたま提案者なので、ここでそのような話がでた。減額となれば、後日事務局から提案者に話があり、それで事業ができなければ取り下げとなる。

【二野委員】

現場は非常に狭い。子どもたちは幅30センチくらいのところを歩いている。下四ツ屋から西松野木の間は道の幅員が3メートルちょっとしかない。かつ武士に団地ができているし、ゴミ収集車が毎朝7時半頃に稲増から清里に向かって通っていく。そのため非常に困惑している、事が起きてからでは遅い、その辺を加味してほしい。

【山口会長】

提案者においては、安心安全あるいは地域活性化を考えいろいろな思いを持っている。できれば全ての事業を実施してほしい。しかし予算は490万円しかない。そうすると、補助率や事業費を減額して取り組んでいただく。優先順位の高いところから事業を進めていただくとか、足湯を1セット減らすとかいうことを附帯意見にすればよいとも思う。

【佐藤委員】

一律の減額率にすると、委員が説明を聞いて基本審査した意味がなくなってしまう。さらに今後、予算を超える提案が出てくると今年同様に一律の補助率になるおそれがある。

【山口会長】

それは違う。そうなったらその時にまた話し合う。

【佐藤委員】

それはわかった。

ただ、基本審査が考慮されないのはおかしい気がする。

【山口会長】

改選前の委員により三郷区の基本的なルールを決めており、これに基づいて審査採択することになる。今後ルールを見直す際は、佐藤委員の意見を考慮して協議すればよい。

【佐藤委員】

私の意見なので、皆さんがどう判断するか。

【山口会長】

池内委員も尾崎委員の意見、全て採択した上で配分額を減額という話であったと思う。
尾崎委員に意見を求める。

【尾崎委員】

考えは変わっていない。竹内副会長の一律87%に減額というのはいかがなものか。
例えばさんごう防災DAY事業は基本審査が11対1なので、単純計算で約8%の減額となる、そういうやり方も一つだと思う。

【山口会長】

今の基本審査結果で減額率を出す方法と、竹内副会長の一律減額と、この二つしかないと思う。

【池内委員】

同じ意見。例えば4人が適合しないとした場合は12分の8、6～7割の補助率が筋だと思う。

【二野委員】

私もその方がよいと思う。

【山口会長】

今の3委員の意見は、基本審査で適合すると判断した委員数によって、配分、補助率を変えるということによいか。

【池内委員】

ここまで時間をかけて議論しているのだから、それぐらい熟慮したものでないといけないのではないか。

【山口会長】

皆さんの総意で決まるものである。

【池内委員】

もちろん私の意見として、である。

【山口会長】

採決に移る前に、事務的にはどうなるのか。

【佐藤センター長】

今ここですぐに計算することができないので、計算方法の考え方だけ決めていただき、金額については会長、副会長一任とし、事務局が計算した後に確認をいただくということにしていきたい。

【山口会長】

基本審査結果を加味して配分額を決める案と、全事業を一律の割合で補助率を下げる案の二者択一でよいか委員に諮り、了承を得たことから、それぞれに挙手を求める。

- ・基本審査の結果を加味する案に賛成の委員 8人
- ・全事業を一律とする案に賛成の委員 4人

基本審査の結果を加味して配分額を決めることに決する。

【榎島係長】

ここではすぐに計算できないため、事務局で計算するが、全員が基本審査で適合とした事業は満額補助でよいか。

【山口会長】

そのとおり。

【榎島係長】

また、11:1や10:2の事業については、割合を単純にかけたただと減額の合計額がちょうど68万1千円にならない。68万1千円を、補助希望額により案分する考え方も加えて計算することでよいか。

【山口会長】

結構である。490万円にするということである。それでよいか確認を求め委員全員の了承を得る。

補助金額についてはそのように決定する。

次に提案者への附帯意見について、意見を求める。

【竹内副会長】

補助額が減額されても、その範囲で事業を実施していただきたい。

【山口会長】

減額しても事業を実施するよう附帯意見を付けることを諮り、委員全員の了承を得る。

予算残額がないことから追加募集はしないことを委員に諮り、了承を得る。

【榎島係長】

補助額が減額された場合に、事業費は減らさずに自主財源で補って事業実施するケースと、減額後の補助金額相当に事業費を縮小して事業実施するケースが想定されるが、いずれでもよいかどうか確認いただきたい。

【山口会長】

意見を求める。

【池内委員】

どちらでもよいと思う。

【山口会長】

今、池内委員からどちらでもよい、事業者にどうするかを任せればよい、という意見が出た。それでよいか諮り、委員全員の了承を得る。

質疑を求めるがなし。

—次第4 事務連絡—

【山口会長】

事務局に事務連絡を求める。

【佐藤センター長】

- ・地域活動支援事業に関する今後のスケジュール：本日の採択を受け、速やかに補助金交付決定を行う予定。
- ・地域協議会だよりの発行：7月15日号の広報上越と合わせて発行・配布。本日の採択結果と改選後の委員自己紹介等を掲載予定。
- ・次回会議日程：7月11日（月）午後7時から 三郷地区公民館で開催予定

【山口会長】

質疑を求めるがなし。

- ・会議の閉会を宣言。

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 南部まちづくりセンター

TEL：025-522-8831

E-mail：nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせて御覧ください。